科　目 コード	51510	授業 科目	成人・老年保健看護特論Ⅰ Adult and Geriatric Health Nursing Theory Ⅰ	担当 教員	○大湾明美 神里みどり 山本敬子

開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・特論	授業 形態	講義
選択必修	選　択（領域必修）	時間数	30時間				

授業概要	成人・老年保健看護の対象を理解し、課題が導けるように関連する概念や理論を学ぶ。また、最新の高齢者のケアシステムや高齢者ケアの方向性、がん看護、慢性疾患看護についての知識、理論を学ぶ。
到達目標	１．成人・老年保健看護領域における概念や理論を概観できる。 ２．諸理論を用いて対象を捉えることができ、課題が導ける。 ３．高齢者のケアシステムや新たな高齢者ケアの方向性から、看護の果たすべき役割と機能を習得する。 ４．がん看護のモデルや症状マネジメント、補完代替療法を習得する。 ５．慢性期にある人のＱＯＬと生活支援、病気の受容と自己管理支援を習得する。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
第1回	高齢者理解のための理論	大湾明美
第2回	対象の捉え方とケアの方法論	〃
第3回	高齢者のケアシステム	〃
第4回	2015年の高齢者介護	〃
第5回	新たな高齢者ケア	〃
第6回	看護の果たすべき役割と機能	〃
第7回	老年保健看護に関する院生のプレゼンテーション	〃
第8回	がん看護における症状マネジメント	神里みどり
第9回	がん看護における全体性パラダイムモデル	〃
第10回	がん看護と補完代替療法	〃
第11回	慢性期にある人の特徴	山本敬子
第12回	慢性期にある人のＱＯＬと生活支援	〃
第13回	病気の受容と自己管理の支援	〃
第14回	成人保健看護に関する院生のプレゼンテーション	神里・山本
第15回	まとめ	大湾明美

テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。
成績評価の方法	評価は、授業への参加態度や討論、プレゼンテーションや課題レポートを総合して行う。
備　考	教育の進め方は、各教員が専門的立場から講義形式で行う。 運営は、院生の発表と討議により理解を深める。

科　目 コード	51520	授業 科目	成人保健看護演習 Adult Health and Nursing Seminar	担当 教員	○神里みどり ○山本敬子 謝花小百合 赤嶺伊都子 未定

開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・演習	授業 形態	演習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	60時間				

授業概要	ライフサイクルからみた成人保健看護上の課題を検討し、専門看護職者に必要な課題解決方法・技法について国内外の文献批評を通して、研究課題や実習課題を明確化できるようにする。それに関して必要な知識、理論と方法を習得する。
到達目標	1．慢性疾患やがん看護領域の看護実践についての最新の知識、技術について述べることができる。 2．慢性疾患やがん看護領域の事例を通して、看護実践上の重要課題を導くことができる。 3．慢性疾患やがん看護領域における看護援助の開発方略について述べることができる。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
第1～30回	**＜専門領域ががん看護の場合＞** がん看護領域の看護実践に関する保健・看護援助の現状 （日本・米国・その他諸外国の動き） がん看護領域における看護理論と看護実践への応用 エビデンス・ベースド・プラクティスの実践現場への応用 がん看護領域における看護援助の開発：症状緩和 がん看護領域における看護援助の開発：代替療法 がん看護実践の場で課題となる事例検討 がん看護領域における実習課題の明確化 同上 同上	神里みどり 他
第1～30回	**＜専門領域が慢性疾患看護の場合＞** 慢性疾患看護領域の看護実践に関する保健・看護援助の現状 プレゼンテーション 慢性疾患看護領域における看護理論と看護実践への応用 プレゼンテーション 慢性疾患看護の実践の場における課題 事例検討　プレゼンテーション 〃	山本敬子 未定

テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。
成績評価の方法	自主的な討論への参加状況、プレゼンテーション、レポートによる評価。
備　考	国内外の文献を中心に批判、検討する。

科　目 コード	51521	授業 科目	成人保健看護実習 Adult Health and Nursing Practicum	担当 教員	○神里みどり ○山本敬子 謝花小百合 赤嶺伊都子 未定

開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	4単位	科目 分類	専門科目・実習	授業 形態	実習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	180時間				

授業概要	医療機関、行政機関や福祉保健所、市町村などにおいて、特論及び演習を基に現場における課題とその課題解決方法をみいだす。疾病と共に生きる生活を視点に入れて専門的支援を実習する。
到達目標	1. 各諸施設における看護に関する機能・役割の相違を理解することができる。 2. 患者およびその家族の疾病・療養上の問題を明確化できる。 3. 事例を受け持ち、エビデンス・ベースドに基づいた看護計画を立てることができる。 4. 立案した計画を専門的知識・技術・判断能力を用いて看護援助の実践を行うことができる。 5. 実践した一連の看護援助を振り返り、今後の課題を見いだすことができる。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
第1週	慢性疾患・がん看護領域のうち興味のある分野を特定し、実習計画を立てる。	神里みどり 山本敬子 謝花小百合 赤嶺伊都子 未定
第2週	臨床実習	
第3週	臨床実習	
第4週	臨床実習	
第5週	臨床実習における一連の実習内容を振り返り、課題レポートとしてまとめる。	

テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。
成績評価の方法	評価：学生の医療施設実習記録、課題レポート
備　考	実習施設の選定、実習計画の作成、実習参加

科目コード	51525	授業科目	老年保健看護演習 Geriatric Health Nursing Seminar	担当教員	○大湾明美 田場由紀

開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・演習	授業形態	演習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	60時間				

授業概要	老年保健看護がエビデンスに基づいて実践できるように重要な概念及び保健医療福祉政策を、最近の国内、国外の文献を通して分野の知識を深め、批判的に、研究方法、問題解決方法を学習する。また、文献による研究結果を自己の看護実践に応用するための分析、評価について学習する。
到達目標	1. 老年保健看護における重要な概念を理解することができる。 2. 老年保健看護における保健医療福祉政策から高齢者ケアの方向性を理解し、専門的な看護職者の役割を述べることができる。 3. 文献学習により分野の知識を深め、研究方法や問題解決方法の多様性を理解することができる。 4. 文献学習の結果を自己の看護実践とつなげ、看護実践の改善方法を提案することができる。 5. 学生の関心分野をもとに、研究上の疑問を明らかにし、実習や特別研究に役立てることができる。

回数	授業内容及び計画	担当者名
1～2回	老年保健看護における重要な概念	大湾明美
3回	高齢者の保健医療政策の方向性	〃
4回	高齢者ケアの看護専門職者の役割	〃
5～14回	文献学習（研究方法、問題解決方法等に関する文献を教員が提示）	田場・大湾
15回	学習内容の報告及び自己の看護実践の問題提起(学生発表)	〃
16～18回	看護実践の問題の明確化	〃
19～27回	文献学習（自己の課題に関する文献を学生が提示) 文献から自己の課題の解決方法を学ぶ	〃
28～30回	看護実践の改善についての計画書の報告及び課題の提案	〃

テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。
成績評価の方法	評価はディスカッション内容、発表内容等で評価する。
備考	演習内容により、資料、文献を用いて実施する。運営は、前半が教員主導、後半が学生主導で行う。

科　目 コード	51526	授業 科目	老年保健看護実習 Geriatric Health Nursing Practicum	担当 教員	○田場由紀 大湾明美

開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	4単位	科目 分類	専門科目・実習	授業 形態	実習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	180時間				

授業概要	成人・老年保健看護特論Ⅰや老年保健看護演習等を基盤に、多様な地域や場で生活している高齢者（自立/要介護高齢者）を対象として、個々の対象特性を総合的にアセスメントし、高齢者の尊厳を支えるためのケア技法について実習し、看護職者としての専門的な実践能力を養う。
到達目標	1. 老年期にある対象の特性と、生活の全体性・個別性・継続性・地域性の視点からアセスメントを行い、生活上の課題（生活ニーズ）について、看護の専門的視点で把握することができる。 2. 看護の専門的視点で捉えた生活ニーズを解決するための看護介入、及び必要な社会資源（インフォーマル/フォーマル・サポート）の活用ができる。 3. 高齢者の生活ニーズの解決に向け、看護ケアの向上のための具体的提案ができる。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
	1．オリエンテーション及び実習計画書作成（3日間） 1）担当教員：授業概要、到達目標、心構え等について、オリエンテーションを実施する。 2）学生：関心のある課題に基づき、実習目的、実習目標、実習先*1、実習内容等を提案する。 3）担当教員とのディスカッションを踏まえた上で、実習計画書*2を作成する。 *1実習先の選定等：対象（自立/要介護高齢者）及び地域（離島・過疎/都市地域等）の選定及び順序については、対象や地域及び学生の状況と調整し、計画していく。 *2実習計画書の内容：実習目的、実習目標、実習先、実習内容、実習方法、実習スケジュール、実習記録等。 **2．離島・過疎地域で生活する高齢者の実習（5日間）** 1）関係者や既存資料からの情報収集、地区踏査を行い、対象特性と地域特性を把握する。 2）対象と実際に関わり、直面している生活ニーズや将来予測される課題について、明確化する。 3）対象の課題解決に向け、看護職者の役割と社会資源の活用方法を含め、ケア計画を立案する。 4）ケア計画に基づき、対象が地域での生活が継続できるために必要な直接ケア、相談、調整、教育機能について、担当教員及び実習先の指導者のもとに実施する。 5）実習したことを実習目的・実習目標に沿って評価し、レポートを作成する。 **3．中間報告及びディスカッション（1日間）** 1）中間報告として、視聴覚機材を活用し、実習内容等について、プレゼンテーションする。 2）学生と担当教員を交えて、ディスカッションを行う。 **4．都市地域で生活する高齢者の実習（5日間）** 上記2．と同様。 **5．最終報告及びディスカッション（2日間）** 1）最終報告として、実習した地域や場、対象の特性を比較し、具体的介入についてプレゼンテーションする。また、新たな看護ケア向上のための具体策も提案する。 2）学生のプレゼンテーションを踏まえて、看護職者の専門的な実践能力についてディスカッションを行う。 3）レポートの作成	田場由紀 大湾明美

テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。
成績評価の方法	ディスカッションにおける参加度、実習先の指導者の情報、実習計画書、プレゼンテーション内容、ディスカッション内容、レポートに基づき、総合的に評価する。
備　考	学生は主体的に担当教員と実習先の指導者と調整し、指導のもとに計画、実施する。

科　目 コード	51531	授業 科目	成人・老年保健看護特別研究 I Adult and Geriatric Health Nursing Special Study I	担当 教員	◎神里みどり ◎大湾明美 ◎山本敬子 ◎田場由紀、謝花小百合、 赤嶺伊都子、未定(成人)

開講年次	博士前期課程 1～2 年次	単位数	8 単位	科目 分類	専門科目・特別研究	授業 形態	演習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	240 時間				

授業概要	成人・老年保健看護領域において院生が自ら研究課題をみつけ、文献検討、研究対象と方法、技法を選択し、データを収集し、結果を分析、考察して論文を完成することを学習する。この過程から学問をする態度、倫理性、科学的思考、学問を通しての社会的貢献などを学習する。
到達目標	1. 研究プロセスを理解し、研究指導教員の指導の下に実施できる。 2. データ収集・分析、文章表現法などの基本的技法やマナーを習得できる。 3. 論理的思考ができ、分析力を習得できる。 4. 研究する者として必要な倫理的態度を身につける。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
1 年次	4 月 入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション 研究指導教員希望届の提出・決定 ＊ 履修指導、履修届の提出 ＊ 関心あるテーマ周辺の文献探索と検討 研究テーマの明確化・研究計画書作成 毎月 研究計画検討会・・・研究計画書の検討 ＊ 研究倫理審査申請 ＊ 研究フィールドの依頼と決定 データ収集・分析	神里みどり 大湾明美 山本敬子 田場由紀 謝花小百合 赤嶺伊都子 未定（成人）
2 年次	10 月（4 月） 研究結果検討会・・・研究結果の検討 ＊ 主査・副査の決定 考察･論文作成 12 月（6 月） 修士論文 第 1 稿 ・ 学位審査申請書の提出 ＊ 1 月（7 月） 中間発表会 ＊ 修士論文 最終稿 の提出 ＊ 2 月（8 月） 論文審査・最終試験 ＊ 合否および修了判定 3 月（9 月） 公開発表会 ＊ 修士論文 保存版 の提出 ＊ ※（　）内は、前学期修了者の日程	

テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示する。
成績評価の方法	審査委員会により論文審査および最終試験（口頭または筆答による）を行う。
備　考	注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自掲示には十分注意を払うこと。 担当教員欄の◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。

科　目 コード	51532	授業 科目	成人・老年保健看護課題研究 Adult and Geriatric Health Nursing Problem Study	担当 教員	◎神里みどり ◎大湾明美 ◎山本敬子 ◎田場由紀、謝花小百合、赤嶺伊都子、未定（成人）

開講年次	博士前期課程 1～2 年次	単位数	8 単位	科目 分類	専門科目・課題研究	授業 形態	演習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	240 時間				

授業概要	成人・老年保健看護領域に関連した現場の中で自ら選択する課題に焦点をあて、課題に関する最新の知識を収集し理解した上で、問題解決の方法と技法を考究し、実践の結果を分析、考察して報告書を作成する。
到達目標	1. 研究指導教員の指導の下、課題を発見し、問題解決方法や技法を考究し、実施できる。 2. データ収集・分析、文章表現方法など基本的技法やマナーを習得できる。 3. 論理的思考ができ、分析力を習得できる。 4. 実践家として必要な倫理的態度を身につける。 5. 専門職種として生涯学習する態度を身につける。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
1 年次	4 月　入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション 研究指導教員希望届の提出・決定 ＊ 履修指導、履修届の提出 ＊ 関心あるテーマ周辺の文献探索と検討 研究テーマの明確化・研究計画書作成 毎月　研究計画検討会・・・研究計画書の検討 ＊ 研究倫理審査申請 ＊ 研究フィールドの依頼と決定 データ収集・分析	神里みどり 大湾明美 山本敬子 田場由紀 謝花小百合 赤嶺伊都子 未定(成人)
2 年次	10 月（4 月）　研究結果検討会・・・研究結果の検討 ＊ 主査・副査の決定 考察･論文作成 12 月（6 月）　課題研究 第 1 稿 ・ 学位審査申請書の提出 ＊ 1 月（7 月）　中間発表会 ＊ 課題研究 最終稿 の提出 ＊ 2 月（8 月）　課題研究審査・最終試験 ＊ 合否および修了判定 3 月（9 月）　公開発表会 ＊ 課題研究 保存版 の提出 ＊ ※（　）内は、前学期修了者の日程	

テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示する。
成績評価の方法	審査委員会により総合科目試験（口頭および筆答）、課題研究報告書の審査および最終試験（口頭または筆答）を行う。
備　考	注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自掲示には十分注意を払うこと。 担当教員欄の◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。